

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2025年3月12日（第2版）

承認番号	24093
課題名	ストーマカンファレンスの現状と装具決定に与える影響
研究期間	西暦 2024 年 10 月 17 日（実施許可日）～ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象	2023 年 4 月～2024 年 3 月に 6 階東病棟に入院され人工肛門造設を受けた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、ケア支援者の有無、ADL、原因疾患、ストーマの種類、入院期間、ストーマ造設から装具決定までの期間、転帰等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
利用予定日	開始日：実施許可日から 1 ヶ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	<p>6 階東病棟では、2023 年 10 月より、毎週月曜日に新規人工肛門造設予定患者さん、造設患者さん全例について、皮膚排泄ケア認定看護師を交え、ストーマケア方法等を共有、検討するカンファレンス（以下ストーマカンファレンス）を開始しました。</p> <p>本研究では、ストーマカンファレンスで話し合われている視点の調査と、カンファレンス開始前と開始後においてストーマ造設患者さんの手術から装具決定までの期間を比較して、ストーマカンファレンスの装具決定期間への影響を明らかにすること、早期に装具が決定する要因を明らかにすることを目的としています。</p>
研究の方法	<p>6 階東病棟でストーマカンファレンス実施前（2023 年 4 月～2023 年 9 月）とストーマカンファレンス実施後（2023 年 10 月～2024 年 3 月）の期間に 6 階東病棟で人工肛門造設術を受けた無作為に抽出された患者さん 15 名ずつの、年齢、性別、ケア支援者の有無、ADL、原因疾患、ストーマの種類、入院期間、ストーマ造設から装具決定までの期間、転帰等を抽出して比較します。</p> <p>ストーマ造設から装具決定までの期間のストーマカンファレンスの記録を抽出して分析します。</p>
その他	公開すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、</p>

下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

旭川医科大学病院 6階東ナースステーション 研究責任者 佐藤佑和子

旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

0166—69—3760（病棟直通）